

米沢市教育委員会 会議録

令和5年8月9日（水）

開会 午後4時00分

閉会 午後6時01分

1 出席委員

教育長 土屋 宏 委 員 神尾 正俊 委 員 佐藤 晃代
委 員 我妻 仁 委 員 渡邊 美智子

2 出席職員

教育指導部長	山口 玲子	教育総務課長	石黒 龍実
社会教育文化課長	高橋 稔	スポーツ課長	富取 桂樹
学校教育課長	植木 修	適正規模・適正配置推進主幹	森谷 純
教育総務課長補佐	米原 裕美	教育総務課長補佐兼総務主査	佐藤 真英
教育総務課主任	佐藤 祥平		

3 傍聴人の有無 無

4 会議録の承認

令和5年7月20日開催分

5 議事

議第14号 令和4年度教育委員会の事務の点検・評価について

6 報告事項

- (1) 第二期米沢市スポーツ推進計画の骨子案について
- (2) 市立中学校生徒の死亡事案について
- (3) その他

7 その他

教育長 米沢市教育委員会を開会する。初めに会議については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定により原則公開となっているが、本日の会議の議決

案件及び報告事項については市議会への報告を予定しているもののほか、報告内容に個人情報に伴うものがあることから、本日の会議は非公開としたいと思う。この件について、ご異議ないか。

———異議なし———

教育長 本日の会議は非公開とする。

———会議録の承認———

教育長 議決案件に入る。令和4年度教育委員会の事務の点検・評価について説明をお願いします。

教育総務課長 ———資料により説明———

教育長 報告書の1ページから6ページまでの部分でご質問等いかがか。なければ、報告書の7ページから17ページまでの部分でご質問等いかがか。

神尾委員 公開研究発表会をオンラインで実施したが、オンラインによる授業の視聴では子どもたちの様子や反応をなかなかつかみきれないように感じた。事後研究会もオンラインで行っているが、討議についてどのような様子であったか。また、今年度の公開研究発表会はどのようなかたちで行うのか。

学校不適應児童生徒へ授業をオンライン配信できるようになっており、学校へ行かなくても友達の顔を見られるといった良い点があるため、授業のオンライン配信について今後更なる充実をはかってほしい。

小学校の外国語の授業については基本的に担任が行うと思うが、中には外国語が苦手である先生もいる。担任以外の先生の外国語の授業の実態はどうなっているか。

I C T活用について学校間及び校種間で差があるとしているが、どのような差か。

学校教育課長 事後研究会においては、教材の研究の仕方や授業の進め方についての意見が活発に出され、中身の濃いものになった。オンラインによる実施は有効な手段であったと思われる。また、今年度の公開研究発表会は参集型で実施する予定である。教室の雰囲気や先生と子どもの対話の雰囲気について直に感じ取ってほしい。

授業のオンライン配信は、学校へ行けないが学習したい子どもにとって大変有効なものである。学校へ行くことに対する不安を取り除くことができるため今後積極的に活用していきたいが、オンライン配信のみに偏らず、そのような子どもたちがなるべく学校へ行けるよう引き続き対応したい。

小学校の外国語教育については、教科担任制の導入や英語専科の教員の配置といった対応を行っている。また、英語の授業が苦手である教員に研修を実施することで授業力を高めている。今後研修の内容を充実させていきたい。

I C T活用については、積極的にI C Tを授業に取り入れようとする教員とそ

うではない教員がいるため、学校間で差が生じている。このような差を無くすために、ICT活用の事例を全校へ紹介し情報共有を行う、ICT支援員を学校へ派遣するといった事業も行っている。

我妻委員 ICT活用について、最終的に教育の個別最適化という目標があると思うが、その目標達成のためには到達までの具体的なプランを学校ごとに作成する必要があると考えるため、教育委員会で主導的に対応してほしい。

学力向上について、米沢市の学力の平均値が全国平均や県平均を上回るためには授業改善だけでは目標達成できないと考える。授業改善以外に、家庭学習環境の充実、家庭学習時間を長くすることが重要であるので、その辺りの対応を今後お願いしたい。

「全国体力・運動能力調査において、本市の平均が全国の平均を上回った調査項目の割合」の値をKPIとして記載しているが、令和7年度の目標値到達に向けて具体的にどのようなプランを計画しているか。

学校教育課長 ICTについては、慣れるものから活用するものへと変化してきている。デジタル教科書はこれまで指導者用のみを使用していたが、現在は学習者用を使用する段階に来ている。今後、ICT活用により“個別最適な学び”が進むと思われるが、それを“自分の学び”にしていけるよう、ドリル教材やデジタル教材をタブレットに取り入れ、子どもたち一人一人に合った学習ができるよう対応していきたい。

子どもたちの学力向上のためには学校と家庭がつながる学習が重要であり、学校で学習したことをさらに家庭でも学習したいと思えるような、または家庭で学習したことを学校で発表したいと思えるような授業づくりをしていきたい。また、昨年度から、ベネッセの総合学力調査を活用し個別の結果に合わせた教材を用いるという新たな試みを行っている。

体力運動能力調査の件については、コロナ過の影響により、運動は好きだが運動する機会がないという子どもが多い状況である。今後、運動を楽しめる環境を子どもたちに多く提供していきたい。

我妻委員 AIにより子どもたちそれぞれの弱点を把握することは可能であると思われる。最新の技術を活用し、“個別最適な学び”を進め、子どもたちの学力を今後伸ばしてほしい。

教育指導部長 ICT活用において教員の指導力不足という課題があるため、研修を実施し改善していきたい。また、全国体力・運動能力調査について、小学生の値が下がっている傾向にある。運動する環境づくり、運動する場や機会をつくることを今後重視していきたい。

佐藤委員 全国体力・運動能力調査の値が下がった要因としては、コロナ過の影響で、運動会や陸上競技会、スキー競技会の開催ができなかったことがあると思う。子

どもたちが運動できる場を今後つくってほしい。

キャリア教育について、K P Iとして記載している「自己のキャリア（将来の夢や目標を持っているか）について前向きに考えている子どもの割合」の令和4年度の値が下がっており、コロナ過の影響で職業体験ができなかったことが影響していると思われる。先月、大館市に出張し授業視察した際の経験を述べると、大館市では、子どもたちがひまわりを育てそのひまわりの種から油を作って売るといった体験授業を行っていた。米沢市でもこのような事業を行うとなると大変だと思うが、大館市の例を参考にし、今後キャリア教育に力を入れてほしい。

学校教育課長 運動する環境や機会は子どもたちにとって大切なものである。コロナ過の影響で学校と地域とのつながりが少なくなっているため、今後そのつながりを再構築し、子どもたちが活躍できる場をつくっていききたい。

キャリア教育について、コロナ過の影響があり令和4年度は職業体験を実施できなかったが、子どもたちに対しオンライン講話を実施した。今年度は職業体験を実施する予定である。実体験により働く素晴らしさを子どもたちに感じ取ってほしいという思いを大切にしている。市内の事業所で中学生の職業体験を受け入れたいという思いがある所もあり、今後もキャリア教育に力を入れていきたい。

渡邊委員 I C T活用の課題として大型掲示装置が古くなっていると記載されているがどのような状況であるか。古くなっていることで子どもたちに不利益が生じていないのか。

防災、学校安全体制関係について、登下校の安全確保とあるが具体的にどのようなことを行っているか。関連して、暑さ対策としてはどのようなことを行っているか。

学校教育課長 大型掲示装置が古くなっている件については、大型のテレビが古くなっており、最新型のP Cとの接続がうまくいかない状況が生じている。このようなことをふまえ、大型テレビの更新とともに、電子黒板の導入も検討している。接続がうまくいかない場合でも、授業において担任が子どもたちと共有したい画面のデータを子どもたちのタブレットに送るという手法も可能である。

防災、学校安全体制関係について、昨今、クマ、サル、イノシシといった有害鳥獣の出没情報が多くなっているため、子どもたちの登下校の安全確保を目的として、担当課を通して有害鳥獣対策連絡協議会へ登下校時の通学路の見回りをお願いしている。その他、有害鳥獣の出没情報について学校の一斉メールを用いて保護者へ情報提供する、教職員が登下校時に見回りを行うといった対応も行っている。暑さ対策としては、登下校時に制服ではなくTシャツとハーフパンツでの通学を可とする、部活動の活動時間を短くする、体育の授業の時間

を保健の授業へ変更する等の対応を行っている。なお、本日の会議の4報告事項(2)において、熱中症対策の詳細について具体的に説明する予定である。

教育長 その他ご質問等いかがか。なければ、報告書の18ページから27ページまでの部分でご質問等いかがか。

我妻委員 子どもたちの読書活動に関連して、先日、図書館運営協議会に参加し米沢市立図書館の利用実態を聞く機会があったので、それについて述べたい。米沢市内の図書館登録者数は人口の6割程となっており、この値は全国平均より上となっているが、有効登録者数という直近1年間で書籍等を図書館から借りた人数は人口の1割程であり、この値は全国平均より下であるとのことだった。また、有効登録者数を年代別に分けて見てみると、最も低いのは10代の若い人たちということであった。図書館で本を借りる10代の若い人たちを増やす取組について今後検討してほしい。

鷹山大学等の各種講座について、平日の昼に開催してるものが多いため、平日の昼に仕事をしている人たちにとって参加が困難となっている。夜間に開催できないか検討してほしい。

社会教育文化課長 図書館で本を借りる人が少ないという状況は把握しており、貸し出し数を上げるための様々な手法を考えているところである。現在考えているものとしては、移動図書館のルート見直しや10月にオープンする屋内遊戯施設において図書を利用できないか検討している。

鷹山大学等の各種講座の開催時間帯について、変更できないか今後検討していくこととする。

神尾委員 生涯学習関係についてであるが、様々な講座で学んだことを発表する機会が少ないようである。以前行っていた生涯学習フェスティバルには、作品の展示、趣味等の実技の披露やステージ発表といった内容があり、大変有意義なものであった。生涯学習フェスティバルの開催について前向きに検討してほしいが、今後の開催予定はどうなっているか。

社会教育文化課長 生涯学習フェスティバルはコロナ過の影響で中止しており、今のところ今後の開催の予定はない。発表の場を新たにつくることを検討していきたい。

佐藤委員 地域学校協働活動推進事業について、愛宕小と窪田小の内容が記載されているが他校の子どもたちはこの事業に参加できるのか。

教育指導部長 地域学校協働活動推進事業は、地域コーディネーターとボランティアの方が中心となり学校と地域が連携して行う事業である。これまでは愛宕小と窪田小のみで事業を行っており、他校の子どもたちが参加できるものではない。

教育長 会議が長時間となっていることから、ここで暫時休憩とする。

———暫時休憩———

教育長 再開する。報告書の28ページから31ページまでの部分でご質問等いかがか。

神尾委員 文化施設利用件数について、令和4年度の件数は令和元年度の件数とほぼ変わらない状況となっており、市民の方が文化施設を利用する機会は減っていないことがうかがえる。これに関連して、置賜総合文化センターのホールの冷房が故障中であるとの話を聞いたが、冷房の修理の予定はどうなっているか。冷房が故障中であれば利用件数減となると見込まれるため、修理について早急な対応をお願いしたい。

社会教育文化課長 冷房の修理にかかる費用について現在調査中であり、今年度中に修理を行う見込みは今のところ無い。修理について早めに対応できるよう検討していきたい。

我妻委員 戸塚山137号墳に関して、古墳は全国的にファンが多いため、今後も継続的にこの古墳について全国へPRしてほしい。米沢市のホームページのホーム画面に公式ユーチューブを貼り付け、古墳に関する動画を配信するという方法が良いと思う。

社会教育文化課長 現在、戸塚山137号墳の調査結果報告書をまとめている状況である。今後報告書が完成した際に皆さんへ報告したい。また、PRについて今後継続的に行っていきたい。

教育長 その他ご質問等いかがか。なければ、報告書の32ページから39ページまでの部分でご質問等いかがか。

佐藤委員 陸上競技場第3種公認等改修工事が完了したことに関連して、第3種公認されたというだけで終わりにすることなく、何かこれに関わる記念イベント等を行うとよいのではないか。スポーツの「競う面」ではなく「運動する楽しみ」の部分を重視し、各種スポーツへの導入となるイベントや活動を行ってほしい。クロスカントリー教室への参加者数が少ないので、参加率をもっと上げられないか。スキーの楽しさを多くの方にPRし、多くの参加者を集められたらよいと思う。

部活動地域移行について、今年度のスケジュールが記載されているが、令和6年度の地域移行開始までの流れについて詳細を知りたい。

スポーツ課長 「運動する楽しみ」を重視した活動については、陸上競技協会でも小学生を対象としてそのような活動を行い、中学校の陸上部入部へつなげる取組を行っている。将来の部活動地域移行を見据え、この取組に中学生を含めることを現在検討している。

クロスカントリー教室の参加者数については、指導者が積極的に参加者を募っていないのか、または参加希望がある子どもたちだけに声をかけているのかについて確認が必要である。なるべく多くの参加者が集まるよう今後対応していきたい。

学校教育課長 部活動地域移行について、7月に第一回目の部活動地域移行検討委員会

を開催し、検討委員へ制度の説明を行い、これからの地域移行の進め方について審議を行ったところである。地域移行をする上で受皿となる団体が必要となるため、9月に各団体の代表者へ制度の説明を行い、そこで出される要望や不安等に対応していくことを想定している。まずは、地域の方々から協力を得られる競技において地域移行を行い、それをモデル事業とするのがよいと考えている。また、今年度末に地域移行について保護者へ連絡することを目標としている。

教育長 補足であるが、当初、国の方針で今年度から3年間を「部活動地域移行の重点期間」とし、国の予算がつく予定であったが、予算がつかないこととなり、国の予算はないが各市町村教育委員会で地域移行を推進するという「部活動地域移行の推進期間」とすることとなった。米沢市では子どもの人数が減ってきており、また、部活動で任意加入制が現在進んでいるということもあり、1つの学校のみでチームがつかれない競技がある。今後、小中学校の統合が予定されていることもあり、いろいろと課題があるが、どのように地域移行を実施していくか検討を始めている。モデル事業として、まず何かの競技で地域移行を実施し、そこから他の競技へ広めていければと考えている。

クロスカントリー教室の件であるが、コロナ過の影響で3年間通常どおりの活動ができなかったため教室に参加する子どもが少なくなってしまった。今後改めて参加者を募り、人数を増やしていきたい。

その他ご質問等いかがか。なければ議第14号令和4年度教育委員会の事務の点検・評価についてご承認いただいてよろしいか。

———異議なし———

教育長 ご承認いただいた。次に報告事項に入る。（1）第二期米沢市スポーツ推進計画の骨子案について説明をお願いします。

スポーツ課長 ———資料により説明———

教育長 ご質問等いかがか。なければ（2）市立中学校生徒の死亡事案についてについて説明をお願いします。

教育指導部長 ———資料により説明———

教育長 ご質問等いかがか。なければ（3）その他についていかがか。

スポーツ課長 前回の教育委員会会議で、米澤上杉城下町マラソン2023の開催について報告したが、大会ゲストが決定したため報告する。ゲストは、ロサンゼルスオリンピック体操個人総合の金メダリストである具志堅幸司さんと、リオデジャネイロオリンピック体操団体の金メダリストである白井健三さんの2人となる。詳細は未定であるが、大会前日に2人のトークショーを開催することを予定している。

教育長 ご質問等いかがか。なければ5のその他についていかがか。なければ以上で本

日の教育委員会を閉会する。